



令和5年12月21日  
小田原市立下中幼稚園  
文責 井島 一吉

きらきらと輝くイルミネーションとジングルベルの音色に、心がうきうきするこの頃です。

子どもたちの遊びもひと足早いクリスマスを祝い、トナカイになったり、サンタクロースになってプレゼントを届けに出かけたりして遊んでいました。各教室の中も廊下もクリスマスツリーが飾られ、いろいろな小物でクリスマスモードにあふれています。こんな子どもたちを見ていると、いつもゆったりと心が満たされるひとときとなります。

さて、第2学期も明日で終わりです。しもなか元気いっぱい秋まつりや冬まつりなど、子どもたちにとって、楽しい活動がたくさんありました。そして、私たち教師にとっても、子どもたちの成長が手に取るように感じられる素敵な時間でした。

子どもたちは、夢中になって取り組む遊びの中で、“見て、触れて、感じて、考えて…”いろいろな発見を楽しんでいます。そして、自分らしく表現したり、自分なりに目標をもって取り組んだり、周りの友達と気持ちを合わせたりしながら、友達とのつながりを深めてきました。互いを尊重し合い、一緒に力を合わせて楽しもうとする姿に確かな成長を感じます。



### 安全教育について

幼稚園では、定期的に地震や火災等を想定した避難訓練や引取り訓練、不審者対応の防犯訓練などを行っています。子どもたちは、月に1回は様々な想定のもと、避難訓練を経験しています。1回1回の訓練に真剣に取り組むことで、いざという時に自分の身を自分で守る知識や行動が身につくことを願って、毎回訓練に臨んでいます。起きてはほしくないですが、近い将来、またいつ起こるかわからないとき、心構えをしているのとしてないのとは、いざという時の心の余裕が違うと思います。時にはご家庭でも話題にしてみてください。

園でも、活動する場所が変わる時には、先生たちが防災キャップの入ったかごをその都度運んでいます。さらに、延長保育の時には延長保育室に運び置いています。



<遊戯室で>



<延長保育室で>

### 地域との関わりについて

ここで子どもたちのために、園庭の環境整備をしてくださっている方を紹介いたします。

しもなか元気いっぱい秋まつりの時の園庭が、陸上競技場のトラックのようになっていたことを覚えていますか。それは、給食の配送をしてくださっている和泉克介さんが、「子どもたちがもっと走りやすいように」と、芝を短く刈り込んでくださいました。それだけではなく、和泉さんはご厚意で草の生長時期に5, 6回、芝刈りくんが刈れないすみっこやそら組前の南側の芝生なども刈ってくれています。実は和泉さんは、陸上愛好会「国府津ランナース」の監督さんで、愛好会のメンバーの子どもたちも一緒に来て、刈り取った芝や草を片付けてくれています。本当に有難いことです。



和泉さんだけでなく、今年度は『地域の人たちとのふれあい』をキーワードにいろいろな地域の人との関わりを深め、子どもたちに社会力が身に付けていくようにしています。

★家庭菜園研究会の石井さん・小宮さん、饒村さんのご協力のもと、園舎裏の畑で野菜等の栽培活動を行いました。その生長を観察したり、世話をしたり、収穫の喜びを味わったりしました。



★今年度より、幼稚園の近くにある永福公園で毎週月曜日に行われているラジオ体操に参加しました。毎週参加していたことで、地域の方々と距離が近くなり、秋まつりに「ラジオ体操第一」を行うことに決まり、「ラジオ体操の人たちに来てもらおう」から「一緒に何か楽しめないか」、ついには「玉入れを行おう」と地域での学びが、子どもたちの主体的な姿へとつながっていきました。

☆このほかに

- ハロウィンの時にお菓子をいただいた、ヘアサロン ヨシダ様
- 消防団のお話や消防の車を見せていただいた、第22分団の消防団員の方々
- 冬まつりごっこに来てくれて、クリスマス会に招待してくれた、下中小学校の5年生
- 折り紙コマをいただいた、中村原の林田様
- お楽しみ会で歌や演奏をしていただいた、スイートポテトの方々

コロナ禍で、なかなかできなかった小学生や地域の方とも数多く触れ合う機会をもつことができました。今後も、たくさんの方に支えていただきながら、子どもたちの豊かな経験を積み重ねていきたいと思ひます。

今年もありがとう



2学期も、保護者の皆様のご理解とご協力が無事に学期末を迎えることができました。ありがとうございました。第3学期は、3か月という短い期間ですが、子どもたちにとっては進級・進学に向けて1年の締めくくりの大切な学期です。充実した日々が過ごせるようにしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。これから寒い日が続きますが、体調に気を付けてよいお年をお迎えください。